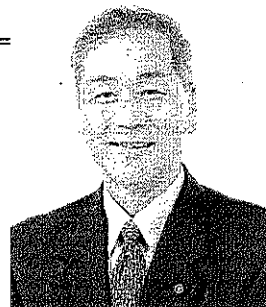


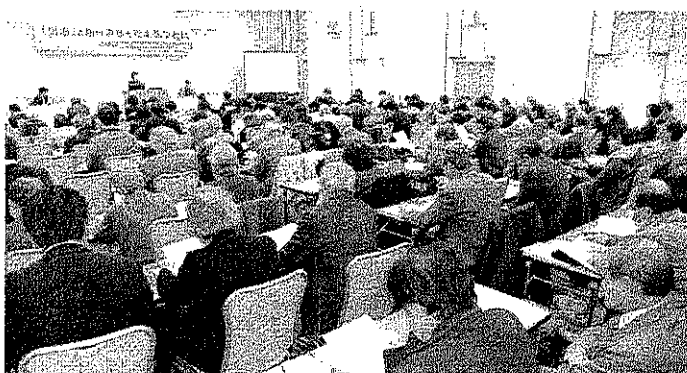
# こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442

日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130

市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2018年2月4日号



## 「民泊」と京のまちを考えるつどい

1月27日、日本共産党京都府委員会・同府会議員団・市会議員団の主催で開催されました。「民泊や、これでいいのか京のまち」「今だけ、お金だけ、自分だけ」「こんな日本に誰がした」「旅館・ホテルが満員なのは中心部だけで全体は空いている」…。様々な御意見が出されました。



社保協主催、国保学習会にて(1/25)

来年度の国民健康保険料が値下げの方向です。市長が、二、三月の議会に提案予定で、僅かとはいえ、運動と世論の成果です。但しこれには、注釈が必要です。井上市議の見解を紹介します。

◎元々、保険料が高すぎることを、

◎従って本来なら値下げが必要なのに、国や市は、差押えたり、正規の保険証を渡さない

この制裁措置を強めたりしていること。

◎現在、市町村が運営している国保を、来年度から、市町村と都道府県が一緒に運営する方式に国が変えてしまったこと(国保の都道府県化)。結論だけ恐縮ですが、全体として国の財政負担を減らすのが狙いです。

◎これに伴って、市町村の財政負担(一般会計繰入金)が減らされ

るなど、国保料の値上げが危惧されてきました。全国的な世論と運動、また議会での質問等々に押され、国は、逆に、国保への財政投入を増やしたこと(一時的に)。

◎一時的に増やすのは、急激な緩和と言って、急激な値上げを回避するためですが、逆に言えば、緩和期間が過ぎれば値上げのおそれが現実化するということが、運動もあり、今後の展開と、政治を変えざる

# 来年度の国保料値下げが実現へ 一人当たり年間保険料が、二千円余り軽減 予断を許さない今後の展開

右下の△2,502円が40歳未満の、△2,123円が40～64歳の、各被保険者の値下げ幅(40～64歳の方は、国保料に介護保険料も含まれる)。保険料の計算方法等、冊子も創っています。ご入用の方、またその他、ご質問や詳細は井上議員迄お気軽に。

### 保険料率・1人当たり保険料

		保険料率			1人当たり保険料		
		29年度	30年度	増△減	29年度	30年度	増△減
医療分	均等割	25,810円	24,360円	△1,450円	58,864円	54,988円	△3,876円 (△6.58%)
	平等割	18,120円	16,490円	△1,630円			
	所得割	8.67	7.56	△1.11pt			
後期分	均等割	8,160円	8,870円	+710円	18,592円	19,966円	+1,374円 (+7.39%)
	平等割	5,730円	6,000円	+270円			
	所得割	2.71	2.83	0.12pt			
介護分	均等割	9,120円	9,410円	+290円	21,033円	21,412円	+379円 (+1.80%)
	平等割	4,810円	4,750円	△60円			
	所得割	2.53	2.53	0.00pt			
医療分+後期分					77,456円	74,954円	△2,502円
医療分+後期分+介護分					98,489円	96,366円	△2,123円

とが必要だと思えます。当面、来年度は、国の一時的な財政措置によって、京都市において、約14億円の黒字が見込まれます。市は、その半分の7億円を保

険料値下げに、残り7億円は一般会計繰入を減らすのに充てる、と言っています。◎全額を値下げに充てれば、もっと値下げできるといわれています。